

2022年度 SOMPOケア 光が丘 定期巡回

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護・医療連携推進会議

- 事業所名 SOMPOケア 光が丘 定期巡回
- 日時 2022年 9月末 コロナウィルス感染症により書面にて開催
- 場所
- 目的
 - ① 適正な運営を行う
 - ② 地域に開かれたサービスとする事で、サービスの質の確保と向上を図る
 - ③ 介護及び看護に関する課題について情報共有を行い、介護と医療の連携を図ること

■アジェンダ

内容	担当	所要時間	開始時間	終了時間	資料
コロナウィルス感染防止のため書面にて開催					

■議事進行

中止の理由: 新型コロナウイルス感染拡大している状況を鑑みて会議を中止する事といたしました。



SOMPO ケア

SOMPOケア光が丘 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 記録

開催日 2022 年 9 月 未 日	開催時間 : ~ :
-----------------------	---------------

■出席者		■当日欠席者	
名前	所属	名前	所属

■審議事項	
1 サービス提供状況の報告	<input type="checkbox"/>
2 自己評価・外部評価	<input type="checkbox"/>
3 意見聴取	<input checked="" type="checkbox"/>
4 事例検討	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

<p>1 サービス提供状況の報告（※新型コロナウイルスの影響にて書面にて報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光が丘訪問看護ステーション居宅 ・ケアワーカー中ノ宮 ・シルバーハート光が丘介護支援センター ・練馬園高松地域包括支援センター ・田柄地域包括支援センター <p>5名様へ送付</p>
<p>2 自己評価・外部評価</p>
<p>3.ご意見 ご意見等なし</p>
<p>3.事例検討 定期巡回・随時対応型訪問介護看護ケース紹介（A様）。</p>

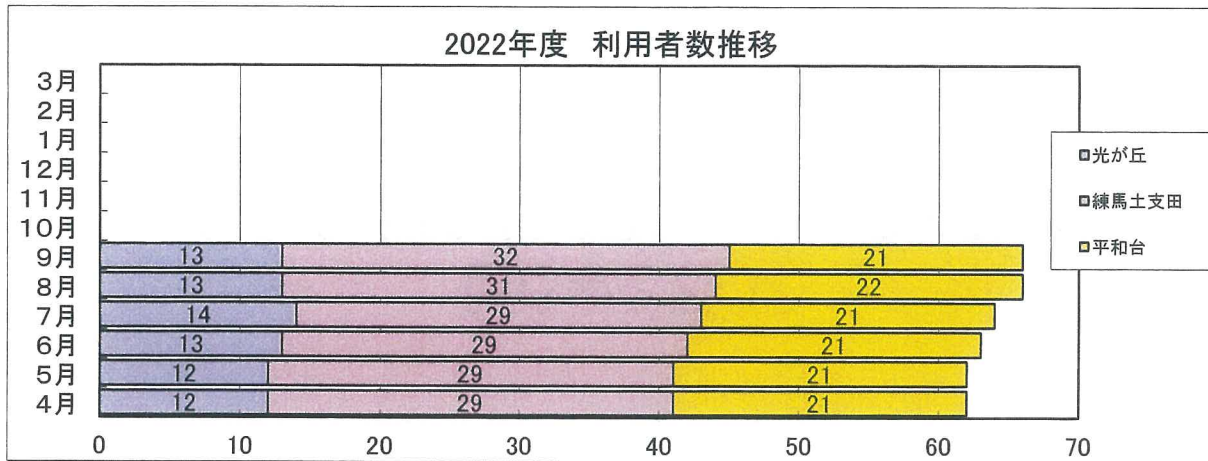
SOMPOケア 光が丘 集計データ 2022年9月



※本集計データは、2022年4月～2022年9月までの利用者累計数及び同期間の請求実績を基に算出したデータです。

【1、年間利用者数推移】

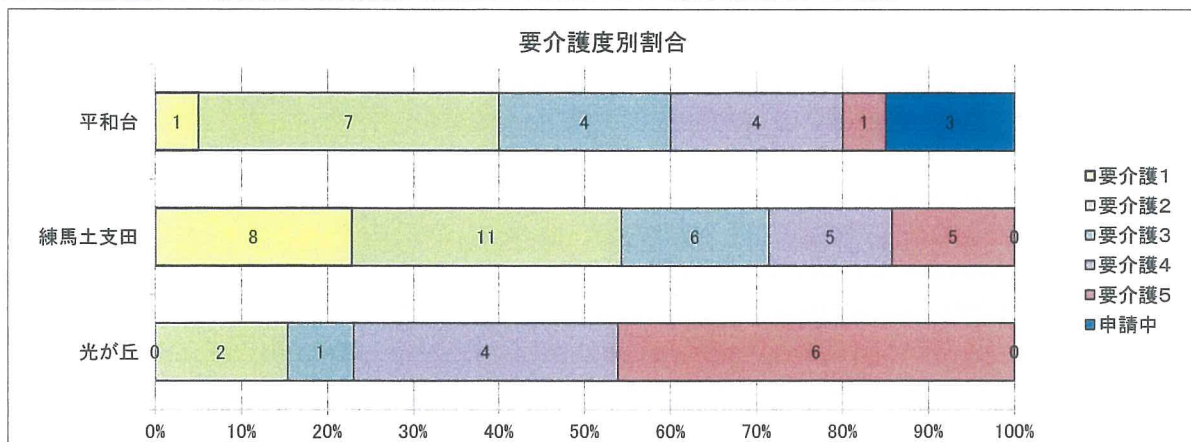
★利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
光が丘	12	12	13	14	13	13						
練馬土支田	29	29	29	29	31	32						
平和台	21	21	21	21	22	21						
合計	62	62	63	64	66	66						



【2、要介護度別利用者数】

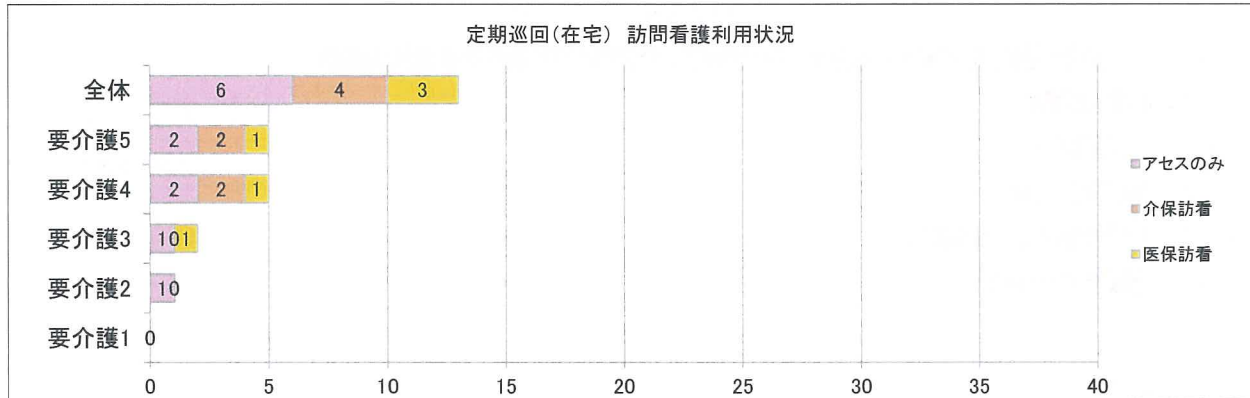
要介護度別 (人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計	平均要介護度
光が丘	0	2	1	4	6	0	13	4.08
練馬土支田	8	11	6	5	5	0	35	2.66
平和台	1	7	4	4	1	3	20	2.40



【3、訪問看護等利用状況】

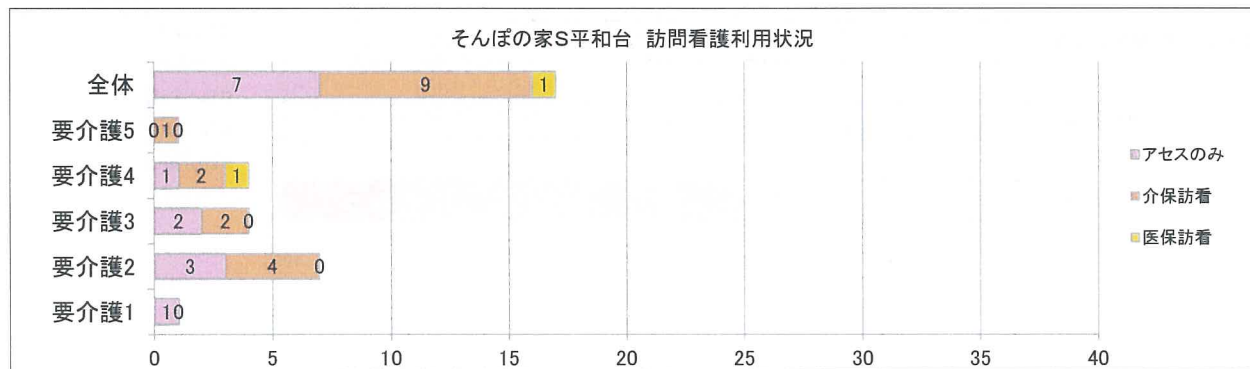
光が丘	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ		1	1	2	2	6
介保訪看				2	2	4
医保訪看			1	1	1	3
合計	0	1	2	5	5	



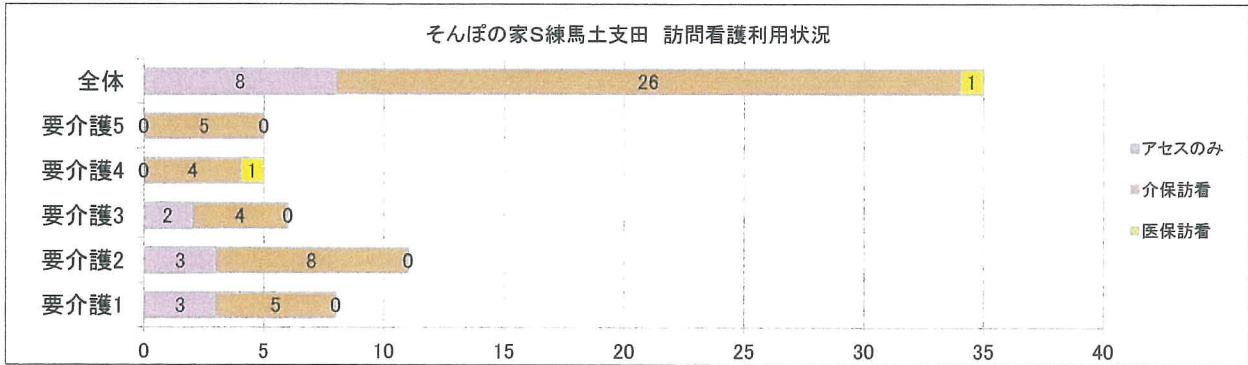
6

平和台	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	1	3	2	1		7
介保訪看		4	2	2	1	9
医保訪看				1		1
合計	1	7	4	4	1	

※申請中 3名 介保訪看

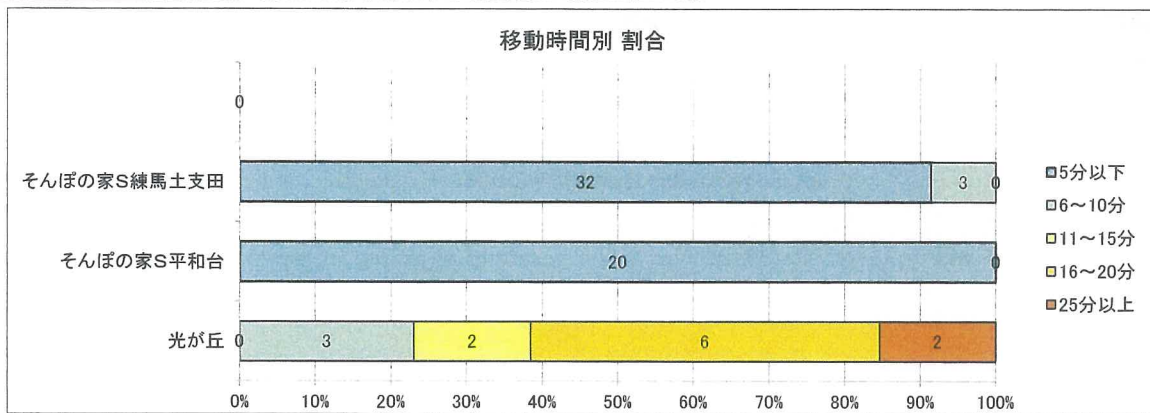


練馬土支田	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	3	3	2	0	0	8
介保訪看	5	8	4	4	5	26
医保訪看	0	0	0	1	0	1
合計	8	11	6	5	5	



【4、移動時間（分）】

	5分以下	6~10分	11~15分	16~20分	25分以上	合計
光が丘	0	3	2	6	2	13
そんぼの家S平和台	20	0	0	0	0	20
そんぼの家S練馬土支田	32	3	0	0	0	35
	0	0	0	0	0	0



定期巡回・随時対応型訪問介護看護ケース紹介

事業所名: SOMPOケア光が丘

事例 A 様

88歳 男性 要介護 4 (生活自立度 B1 : 認知症自立度 IIa)

2021/10転倒し受傷。右大腿骨頸部骨折と診断入院。嚥下低下、誤嚥性肺炎を併発。骨折はハイリスクの為、手術せず保存加療。COPDありリハビリ入院していたが肺炎再発。誤嚥のリスクあり、固形物摂取不可。室内は歩行器を使用している。

身体状況	生活状況	意識状態
既往歴：右大腿骨頸部骨折 慢性閉塞性肺疾患	長女：別居（キーパーソン）	家族・家庭の話になると不穏な状況あり。一度思い通りにならないと強い拒否を示しやすい。介護職員へ強い拒否あり。

看護連携	看護助言
<ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブル、認知症状悪化。 水分や食事が十分にとれない事による脱水。 誤嚥性肺炎のリスク。 移動時転倒リスク 	<ul style="list-style-type: none"> 水分摂取や食事摂取量の観察。 排便、褥瘡、皮膚トラブルの確認 精神状態悪化等、情報共有連携。

介護目標

転倒のリスクの軽減、排泄・皮膚トラブル等のお困りごとの支援を行う。またご病気に関しては訪問診療・訪問看護との連携を図り、早期に対応できるよう支援を行い、日常の動作を通じて身体機能の低下を防ぎご本人様の在宅生活を維持できるよう実現していく。

週間計画①	サービス導入 令和4年 3月～						
	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床介助	排泄	食事準備	服薬介助			
12:00		排泄	食事準備	服薬介助			
18:00	排泄	食事準備	服薬介助				
21:00							

サービス導入 令和4年 3月～
看護サービス: **有** (介護保険)

ポイント

定期巡回サービス
毎日 排泄（1日3回）日中・夜間は随時対応
排泄介助/服薬介助（見守り）/食事準備（1日3回）
その他随時訪問
訪問看護 週2回
往診 月2回
薬本人管理。定期訪問以外の時間は、ご家族が食材を届けにきている。

定期巡回訪問 排泄介助・食事準備介助・服薬介助（見守り）
洗濯・買物代行・更衣介助は適宜対応

事例

支援経過 令和4年3月現在

【2022.3】ご自宅にて 本人様・長女様・長女旦那様・CM・訪問看護・定期巡回事業所参加。本人より、医師・看護の介入は可能だがヘルパーの介入は頑なに拒否あり。定期巡回サービス、緊急通報装置のみ設置の了承を頂き、緊急時随時訪問対応のみとなる。本人様、家族様、CM了承済。今後ヘルパー介入については本人の様子を見ながらの介入となる。

【2022.3.15】CM・家族・福祉用具で訪問し、緊急時は0時までは、長女様の旦那様に連絡するよう指示あり。それ以外の時間は、翌日の連絡で構わないとの事。体調状態はあまり良くないとお話ありましたが、固形物（ピーナッツ）を食べていたご様子。

【2022.3.16～】ヘルパー訪問に対して本人、頑なに拒否があり。入室を受け入れが難しくあったが、時間が経つにつれ徐々にではありますがヘルパー介入が出来るようになり（拒否は続いている）1日1回訪問が結果1日3回訪問出来るようになる。思い通りに行かない時があると不穏な状況は継続してあり。

導入後の効果

ご本人様へご理解頂くまで時間を要しましたが、安心安全に在宅生活を継続いただく為に効果が得られました。ご家族が近隣にいらっしゃり食材、生活必要物品等を届けて下さり、定期巡回サービスを利用することにより頻回に訪問ができ、ご家族からも24時間介護が入るにあたり不安軽減や電話の回数が減ったと安堵の声をいただいている。日々の様子に変化が見られた場合は適切に看護、看護から往診医への連絡ができており在宅生活ができています。

本人・家族の様子

導入前

自宅での生活の不安感、転倒転落等。

導入後

導入前に比べご本人様の不安感は減少している傾向が見られた。ご家族からも24時間介護が入るにあたり不安や心配電話の回数が減ったと安堵の声をいただいている。医療機関との連携もあり安心につながっている。

今後の課題

新たな疾患の可能性もあり必要に応じて医療・CMとの連携がさらに必要となってくる。在宅生活を維持していくために転倒・転落に注意をする。医療機関・ケアマネジャー・家族と相談をしより良い在宅生活を継続していけるよう取り組んでいきます。